

京都精華大学活動報告 23

日時：平成28年12月19日(月) 10:00～15:00

天気：晴

気温：最高 11.0℃／最低 4.0℃

参加者：13名

内容：サウンドスケープのための計測デモ，キリン舎の砂の交換，菜の花畑追肥，つるし柿経過観察

・サウンドスケープとは、「音の風景」という意味で，環境の中で音がどのようにかかっているかを考える概念です。

なお，動物園では飼育動物の展示空間をデザインする「ランドスケープ」の概念がすでに取り入れられており，「ランド」を「サウンド」に変えて考えてみようという取組です。



・キリン舎室内の砂の交換





キリンの飼育環境整備を行うとともにキリンの生態や性格などについて学びました。現在、キリン舎の室内には砂を敷いて管理しています。そこで、うんちやおしっこをしますので、数か月使用した後に砂を入れ替えています。室内で使用した後は、グラウンドに撒いて再利用しています。

その後、葉の食べ方や反芻などを観察しました。

・菜の花畑の追肥

おとぎの国屋上緑化エリアで、現在菜の花を育てていますが、西と東で肥料の差で比較栽培をしています。すでに行った1回目の追肥で、色の出方や葉の生長に差が出ていますが、今回はシマウマの糞の肥料を使って2回目の追肥を行いました。

もし、御来園の際には、おとぎの国木道にある西と東の緑化エリアを比較して見てみてください。



・つるし柿の試食

現在の出来具合を味見してみました。まだ、完全には渋が抜けていませんでした。この味を覚えておいて、来年また味見をして、その変化を舌で感じてみたいと思います。その後、アカゲザルにも食べてもらいましたが、まったく渋いと感じている様子はありませんでした。やはり味覚が違うと感じました。

